

## ニュースレター発送作業に参加して

学生 曹 洗認(チョセイン)

今回私が参加したボランティアはちょっと新鮮な気持ちを持つことができた。今までのボランティアは直接に人を助けること、例えば東京女子医大で医療ボランティアをする、そんな感じで人を助けました。私は今回もただ人を助けること、それだけを思って参加したが、今度は以前と異なって私に二つの貴重な感動をくれた。

一番目は日常生活では感じられないこと、特に最近の社会で全然見つからないことが見つかったことだ。最近ではパソコンとかスマートフォンで文書を書くことができるために、手で直接に書く手紙、葉書が少なくなった。私も横浜に住んでいる幼稚園の時の友達と、今までは手書きで手紙を書いていた。ところが、スマートフォンが流行になってから私は Facebook とかメールで連絡するようになった。こんな時代に私は紙の手紙の中に手書きでコメントを書いてビニールの封筒に入れる作業をする機会に出会ったのだ。電子メールと違ってちょっと面倒だったけど、昔の気持ちを感じる事が出来てうれしかった。

ボランティアも良い体験だったけど、一番心に残ったことはスタッフだったおじいさんのお話だ。私はその話を聞く前までなぜこの団体の名前が日韓アジア基金なのかが気になっていた。日本に住んでから韓国人として差別待遇を受けてきたせいで、ほとんどの日本人は韓国に悪い気持ちを持っていると思ってきた。けれど、日本にはまだ韓国に好い感じを持っている人がいることがわかった。そのおじいさんは昔から韓国が日本にたくさんの文化を伝えてくれたので、それに報いたいと言ってくれた。その話を聞いて私は“あ、まだ日本人の中には韓国人にいい感情を持っている人もいるね”と思った。日本と韓国の関係はまだまだよくないけど、私は両国に立ちふさがる見えない壁がいつかなくなると信じている。

ボランティアの後、スタッフたちと昼ご飯を食べていろいろな話をする事が出来て貴重な機会になった。ニュースレター発送作業以外にもこの基金のイベントにまた参加したいと考えている。



全部作業が終ってホッとしています。